

# Snow Peak Headquarters

Snow Peak Headquarters

No. 12-021-2012作成

新築  
事務所／工場

発注者	株式会社スノーピーク	カテゴリー				
設計・監理	大成建設株式会社一級建築士事務所	A. 環境配慮デザイン	B. 省エネ・省CO2技術	C. 各種制度活用	D. 評価技術／FB	
施工	大成建設株式会社	E. リニューアル	F. 長寿命化	G. 建物基本性能確保	H. 生産・施工との連携	
		I. 周辺・地域への配慮	J. 生物多様性	K. その他		

## 人と人、人と自然をつなぐ



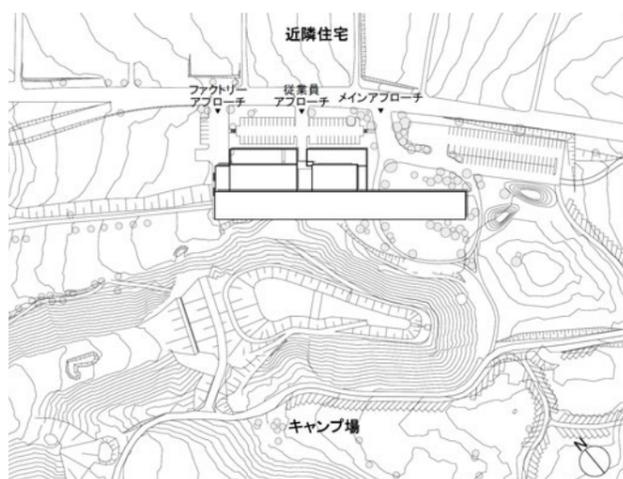
キャンプ場から望む（南東側外観）

### ■ 自然が主役

キャンプ用品などアウトドア事業を中心とした自然志向のライフスタイルを提案し実現するスノーピーク社の本社ビル新築計画。新潟県三条市郊外の約5万坪にもおよぶ広大な敷地はキャンプ場であり、そのほぼ中央に位置する本社は、全ての行為の起点であると同時に近隣住宅からキャンプ場を隠すバリアでもある。緑豊かな周辺環境に配慮した低層のボリュームは、大きな空、雄大な山並み景観、満天の星空、爽やかな春風を妨げない。

### ■ 自然の地形に従う

緩やかな傾斜地である敷地特性を生かし、オフィス・ファクトリー・ストアがそれぞれ異なるレベルのアプローチを持つ階段状の断面構成を採用。地形と植生を変えない計画とした。この自然と建築の関係は、風土との調和だけでなく最小限の排出残土による地球環境保全を目的としている。



配置図

### ■ ゆるやかにつなぐ

オフィスは、クリエイティビティ向上を目的にフリーアドレスを採用。開放的でゆとりあるワンルームとすることで、ワーカー全員の顔が見えるとともに緑豊かなキャンプ場を感じられるワークスペースとした。

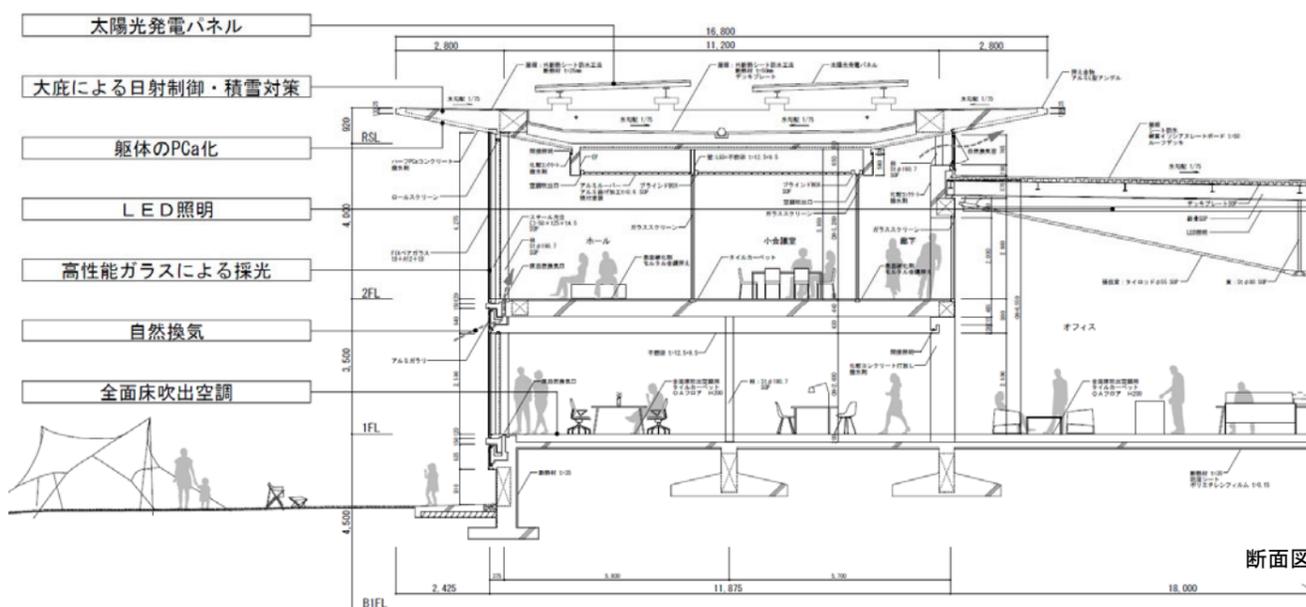
天井高さ6.5mの空間にはLED照明を採用。空調方式は微風速で空調空気を吹出す全面床吹出空調とし、快適性の確保と居住域空調による省CO2化の両立を実現。

ワーカーは、より自然に近い環境の中で、キャンプを楽しむように好きな場所にテントを張り（ノートPCを設置し）、仲間と唄を歌う（協働する）。

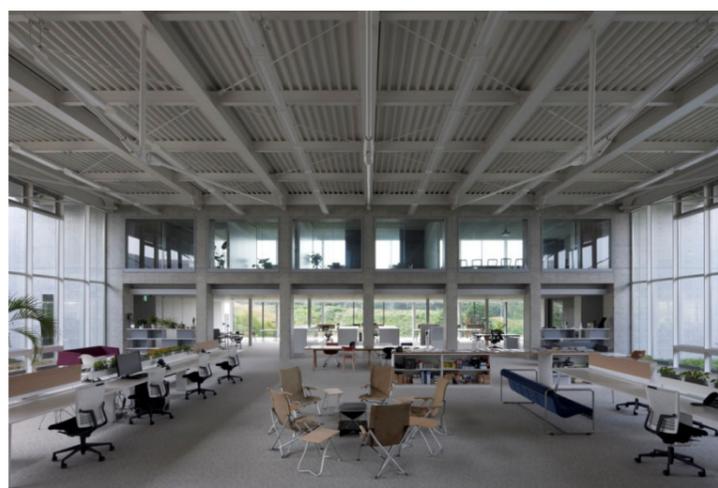
### ■ コーポレートアイデンティティと地域性を兼ねたデザイン

多雪地域に適合しつつ、テントなどシンプルで軽快なスノーピーク製品を踏襲する建築デザインを目指した。

190.7φの鉄骨柱に支えられ浮遊するPCaコンクリートの大屋根は、大きく張り出した連続庇が多雪時のバランスを保つことで梁成を抑え薄く水平に延びる軽快な表現とした。この大庇は、日射を効果的に制御するとともに足元からの大開口の雪除けとして機能する。オフィスの大スパン張弦梁は、積雪に耐えるよう約3cmのムクリを設けることで細く軽快なフォルムとした。その他、積雪荷重に耐える補強を施した太陽光発電パネル、虫の多い地域性を考慮したスリット型自然換気口を採用。



断面図



オフィス内観



大庇による日射制御・積雪対策

#### 設計担当者

統括：碓屋雅之 / 建築：関政晴、野瀬英未瑠、三浦有美子 / 構造：出雲洋治、平尾明星、福田優子 / 設備：中田義治、宮本敬介、小野田修二 / 外構：蕪木伸一、木川薫

#### 主要な採用技術（CASBEE準拠）

- Q3. 2. まちなみ・景観への配慮（建物配置や形態のまちなみとの調和）
- LR1. 1. 建物の熱負荷抑制（PAL性能向上、高性能ガラス、庇の深い外装）
- LR1. 2. 自然エネルギー利用（自然換気、自然採光、太陽光発電）
- LR1. 3. 設備システムの高効率化（LED照明）
- LR2. 2. 非再生性資源の使用量削減（躯体のPCa化）
- LR3. 3. 周辺環境への配慮（風害、光害制御）

建物データ	省エネルギー性能	CASBEE評価
所在地	ERR (CASBEE準拠)	Sランク
竣工年	26 %	BEE=3.1
敷地面積		2008年度版
延床面積		自己評価
構造		
階数		

所在地	新潟県三条市
竣工年	2011年
敷地面積	39,180㎡
延床面積	5,070㎡
構造	RC造
階数	地下1階、地上2階

